

あやがわ



# 議会だより



昭和小学校へ入学(4月8日)

## 子育て支援に全力を



定例会のあらまし .....	2~3p
委員会報告 .....	4~7p
一般質問に10人が登壇 .....	8~13p
傍聴記 .....	14p

子育て世帯を応援！

# 子育て支援医療費の無料化

## 義務教育終了まで

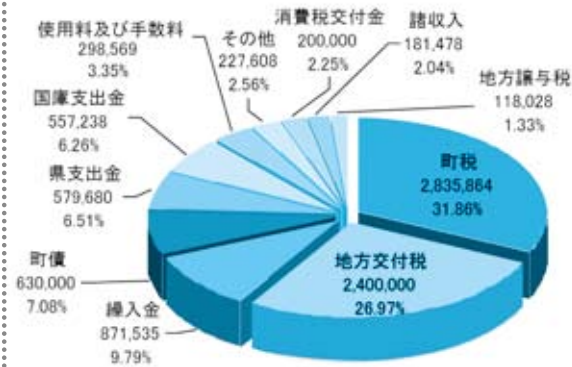
平成23年第1回定例会は、3月2日から16日までの15日間の会期で開催した。本会議初日は、町長から23年度施政方針と、議案の提案理由説明があった。

2日目の7日には、10議員による一般質問のあと、提案された各議案を関係常任委員会へ付託し、15日には、学校等再編整備調査特別委員会を開催することを承認し、散会した。

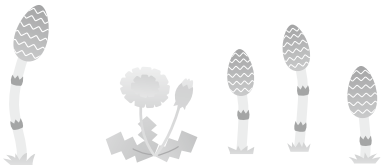
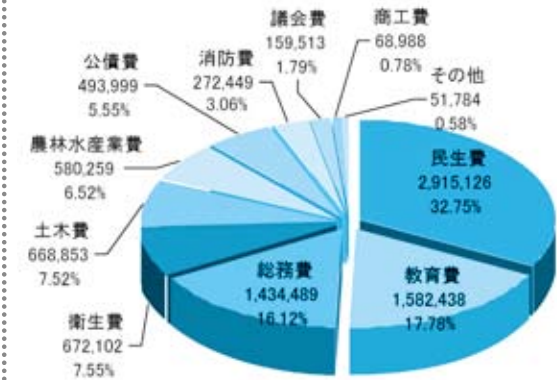
最終日の16日には、23年度的一般会計・特別会計予算など、議案38件、発議「環太平洋経済連携協定(TPP)への参加に慎重な対応を求める意見書」を、いずれも原案どおり可決し、閉会した。今議会の傍聴は、延べ8人だった。

## 町税は前年比0.1%減・地方交付税は9.1%増の見込み

### 歳入〈単位：千円〉



### 歳出〈単位：千円〉



3月11日に発生した東日本大震災により犠牲になられた皆様に対し、ご冥福を祈り黙とうをささげました。

歳入は、近時の経済動向を勘案し、町税28億3586万円、地方交付税24億円、県支出金5億7968万円、国庫支出金5億5723万円、繰入金8億7153万円などを見込んでいます。

歳出は、民生費が29億1512万円、次いで教育費が15億8243万円と高いウエイトを占めている。

新規事業の主なもの、子育て支援医療費支給、ひとり親家庭等医療費支給事業（父子家庭等にも対象を拡げる）、電気自動車への導入（公用車）、高輝度式の道路標識・道路標示整備、防犯灯設置（通学路）、運転免許証自主返納者への「町民バス」無料乗車券発行支援、小学校冷暖房工事、綾上中学校耐震補強工事・大規模改造工事、綾南中学校改築工事基本計画・基本設計、実施設計、山田公民館エレベーター設置工事などを計画している。

# 23年度 一般会計当初予算

## 89億円

前年度比 11%増

### 公営企業会計

会計名		予算(千円)
陶病院事業	事業収益	1,450,993
	事業費用	1,442,391
	資本的収入	36,002
	資本的支出	103,305
介護老人保健施設	事業収益	309,362
	事業費用	308,952
	資本的収入	0
	資本的支出	0
水道事業	事業収益	619,654
	事業費用	566,774
	資本的収入	1,200
	資本的支出	255,048

### 特別会計

会計名	予算(千円)
町営バス運送事業	39,145
国民健康保険	2,849,016
国民健康保険診療所	204,716
後期高齢者医療	322,760
介護保険	2,442,706
火葬事業	38,798
墓園事業	6,272
農業集落排水	9,517
下水道事業	500,711
育英事業	11,482

●22年度一般会計補正予算  
既定の予算額から2億9253万円を増額し、84億470万円とした。歳出では、土木費1億4430万円(町道西浦線道路設計委託料・工事請負費などを含む)などを減額し、教育費5億788万円(学校施設整備基金積立金・綾上中学校大規模改造工事・生涯学習センター図書購入費・B&G綾上海洋センタープール大規模改修工事などを含む)民生費1億318万円(子育て支援基金積立金などを含む)などを増額した。



町道西浦線・3月29日開通(萱原)

### 意見書を可決

環太平洋経済連携協定(TPP)への参加に慎重な対応を求める意見書(抜粋)

(前文省略)

記

1. TPPへの参加については、国民に対し十分な説明責任を果たすとともに、国会での審議等を通じ、国民の合意が得られるよう慎重に検討すること。
2. 国際貿易交渉に当たっては、各分野において適切な国内対策を先行的に実施すること。特に農業分野に関しては、「多様な農業の共存」を理念とする我が国のこれまでの基本方針を堅持し、食の安全確保と安定的な供給はもとより、食料自給率の向上、農林漁業の振興等を損なうことのないよう対応すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成23年3月16日

香川県綾歌郡綾川町議会

提出先：衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣・外務大臣・農林水産大臣・経済産業大臣・内閣官房長官・国家戦略担当大臣

### 教育委員の任命同意

委員の任期(平成23年5月11日)満了に伴い、推薦に同意した。

川田 喜義氏(60歳)

綾川町山田上甲349番地1

(新任)





23年度より子育て支援として、チャイルドシート購入補助金を、1万円から2万円に増額。

新規事業として  
防犯灯を設置

問 設置場所は、どのような場所になるのか。また、街灯も含めた一体的な管理を行なった方が良いのではないか。

答 小・中学生の通学路等で、自治会等からの申請を受け、高松西警察署と現地調査を行なって実施する。

場所は、通行人が比較的多い場所を考えている。設置する防犯灯は、LED灯での設置を考えており、現在、建設課が設置している街灯についても、LED灯に順次切り替えている。今後、一括管理も検討する。

電気自動車1台を導入

問 電気自動車導入に向けた町の考え方とその活用方法は。

答 二酸化炭素削減に向けての取組みをPRし、町民への普及活動に寄与したい。

問 電算システムの更新は単年度で行なうのか。

答 23年度中に更新し、24年度から本格稼働を計画している。

消防局緊急情報システム整備事業負担金とは。

答 高松市への消防・救急業務の委託に伴う経費負担である。平成28年5月までに消防無線に係るデジタル化対応のための無線設備整備に要する経費を計上している。

設置件数618世帯

問 火災警報器の設置件数が少ないようだが、更なる啓蒙・啓発が必要ではないか。

答 住宅用火災警報器助成制度を利用され、設置された方は、23年2月末現在で、618世帯14,688個に留まっており、今後、状況を見ながら、継続も含め協議する。



火災警報器

答 学校ではテレビ機能とは別に、校内放送やDVD再生、パソコンなどのモニターとして使用する。年度計画による利用頻度に応じた整備内容とする。

学校の空調機の設置は

問 小学校の空調整備の概算事業費はいくらか。また、

整備される時期はいつか。  
答 事業費は約1億円で、早く設計に着手し、夏季休業中を利用して工事を行ない、完了は秋以降になる予定である。

デマンドバスも検討

問 デマンドバスは、どのような方式で試行するのか。

答 綾上地区において、バス1台を、路線型で運行する試験運行を検討している。



空調整備予定の陶小学校

22年度一般会計補正予算  
総務費6972万7000円の減、高規格救急車に係る経費、3814万円の増。  
教育費5億788万円の増、綾上中学校大規模改造工事費に、3億7000万円の増、海洋センター大規模改修に係る経費に、5688万4000円の増。生涯学習センター図書購入費に、3100万円の増。

問 地デジ化に伴い一部では、共聴組合を解散すること、そのエリアの数が軒が受信できないことも予想されると聞いている。  
最終的には、何らかの対応を行なうのか。  
答 今のところ、国の助成はない。町内への設置予定の臨時相談コーナーを利用して、個人負担は必要ではあるが、光ファイバー網を利用したサービスが提供されるよう、NTTに要望していく。

1 基当たり、

費用は7万円

**問** 防犯灯設置要綱の主旨は、設置数は。

**答** 夜間の通行において、安全面を考慮して新しく設置するもの。費用は全額町負担とする。

現在、町道に道路照明灯は、752カ所設置されているが、その1/3ぐらいを、別に3年間の計画で行なう予定である。

厚生委員会

3/10

綾川町国民健康保険の税率改正

医療費は過去3年間の平均で5%ずつ増加して、国民健康保険事業運営上税率の改正。基礎課税分の所得割を4.7%から5.7%に、均等割を1万7000円から2万3000円に、平等割を1万6000円から2万2000円とする。

**問** 特定検診後の指導は

バスの運賃を免除

**問** 運転免許証の自主返納事業とは。

**答** 県公安委員会が平成10年度から実施している。自主返納すれば、希望者に運転経歴証明書が発行される。町はこれに対応して、23年度より住民基本台帳カードを写真付きのもので発行する予定。また、それに伴う手数料は免除し、バスの運賃免除も考えている。

子育て家庭の経済的負担の軽減という観点から、少子化対策として、綾川町乳幼児医療費支給に関する条例とは別に小学校就学後から義務教育終了までを対象とした支給条例を制定する。

小規模多機能型居宅

介護施設整備工事の追加

**問** 体育館と北棟との通路の補修は行なうのか。また、進入路はどのように考えているのか。

**答** 極力工事費を抑え、外部の舗装等で利用者の安全を確保。進入路は施設の管理区分との関係があるため、教育委員会と協議し、利用者に不便をかけないようにする。



小規模多機能型居宅介護施設(旧羽床上小)



**問** 小規模多機能型居宅介護施設の名称は、漢字で綾川と報告があったが、老健施設で使用しているから紛らわしいのでは。

**答** 綾川町社会福祉協議会が運営する予定で、今後とも協議する。

学校等再編整備

今後の説明は

**問** 統合について、地域住民や保護者への説明は今後どのようにするのか。

**答** 町PTA連絡協議会と、3カ月ごと定期的に行なっており、今後も事業説明や意見交換会を継続し理解を得る。

**問** 臨時保育士の給与等で一時金を支給し、待遇改善をしたらどうか。

**答** 常勤の臨時保育士の給与は、月額制を導入。一時金の支給は、将来に向け、今後検討する。

綾上診療所の医師派遣

綾上診療所では、常勤医師が1名減となっているが、引き続きへき地医

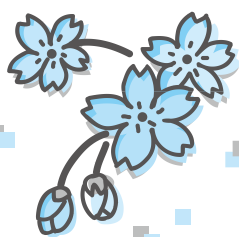
療支援機構と陶病院から医師派遣を受ける予定。

厚生委員協議会 2/4

新規墓園造成工事(新羽床墓園)・一般廃棄物西分最終処分場・微量PCB焼却実験(富士クリン)・小規模多機能型介護施設・東分児童館で説明を受けた。

**問** 東分児童館の脇にある桜の木の根が、建物の基礎部分に入っていないのか。また、排水工事に際し、既存の排水溝を利用して支障がないのか。

**答** 工事に際し、排水における桝等の確認はしている。更に調査し、支障のないようにする。





新羽床墓園(羽床下)

**問** 羽床墓園の利用は、羽床地区内の方が対象になるのか。また、町外の方も利用可能なのか。一方、一度に大勢が参られるため現在ある駐車場では対応できないのではないか。

**答** 羽床墓園の利用者は、町内に住所を有する方。駐車場は、旧の2台から10台まで拡張している。

建設経済委員会

3/14

危険箇所への標識、標示設置

交通安全対策施設整備費として、危険な交差点やカーブ箇所に、夜間や雨天でも見やすくする標識や標示を高松西警察署と連携のもと、今年度から3年間の予定で整備していく。

今年度から

住宅の耐震対策支援

昭和56年5月31日以前に着工された住宅が対象。耐震診断、耐震改修工事について国費、県費を活用し、町費を上乗せした補助金制度で、23年度から5年間の予定で進めていく。



昭和56年以前の建物

水道管を更新  
耐用年数は40年

配水管布設替で石綿管の更新を、23年度と24年

更新を、23年度と24年

**問** 生活排水処理全戸調査業務の実施時期はいつか。

**答** 町は5ヵ年計画、都市計画を見据えて、農

**問** 農振計画の見直し事業は。

**答** 町は、できる限り地域の町おこし等の事業に対して、補助をしたい。

**実** 実施予定の農業助成制度  
23年度新嘗祭供御(くご) 献穀田設置に係る補助。  
地元特産品PR活動を支援する経費の補助。  
合鴨水稲栽培支援対策。母の高温対策としての遮光資材経費の助成。  
集落営農組織等に対する機械整備事業に要する経費助成。  
本格実施する戸別所得補償対策経費。畜産振興補助事業。

**問** 老朽管の定義と耐震化基準は。

**答** 水道管は、25年が耐用年数となっていたが40年に基準が変更している。塩化ビニール管は、昭和40年頃のもので40年を超えている管路もある。口径が150mmの幹線管路等は、布設替により耐震化を図る必要がある。100mm以下の管路にも、土質によつては、铸铁に更新していく必要がある。耐震管の耐力は、震度6に耐えうるものであり、50mm以下の口径は、铸铁管が無いので耐衝撃性硬質塩化ビニール管への布設替が必要である。

**問** 認定農業者の認定期間はいつまでか。

**答** 期間は5年間。申請時において69歳まで。

**問** 経営面での自立を目指す

**問** 農業振興公社の活動を今後どうすすめるのか。

**答** 遊休農地の管理受委託、及び農作業の受委託の調整などサポート的な組織である。

今後、一経営体として利用権設定が可能で、経営面での自立を目指す体制を図っていく。

**問** 特定農業団体等法人化支援はどのように。

**答** 農地の集積・機械の共同利用等JA香川県に對して、法人化支援を引き続き行なう。

**問** 担い手農家相互扶助事業とは。

**答** 土地利用型の認定農業者10名で50万円、町が50万円拠出し、病氣・怪我等による一時的な農作業を支援する事業である。

**問** 戸別所得補償制度の雇用賃金とは。

**答** 綾歌南部地域水田農業推進協議会が主で、町でも農家台帳等の整理のために雇用する賃金である。

**要望** 商工会の小規模、零細企業向けの通常業務に、助成枠確保を要望する。

1ナン商事(株)の負担金で完了する。

**建設経済委員協議会 1/28**

**問** 県道綾川国分寺線の北条池付近の進捗状況は。

**答** 22年度末で工事着工するので、23年度への繰越事業になる。

**町道の整備での町負担は無い**

**報告** コーナン商事(株)出店に関連する町道の整備に要した事業費の精算報告があり、コーナン商事(株)との工事施工に関する協定書に基づき、全額コ

**学校等再編整備調査特別委員会**

2月22日

3月15日に開催

**保護者の意見を踏まえて**

**問** 保護者の意見を取り入れる仕組みを考えては。

**答** 綾上中学校の耐震補強・大規模改修は23・24年度で実施し、綾南中学校は24年度に工事着手、

まえて進めたい。

**問** 3月末までに、住民説明会の予定はあるのか。

**答** 綾上中学校は、耐震補強などの実施設計中で、綾南中学校は、基本計画・基本設計を近く発注する。説明会は、2月15日に、町PTA連絡協議会役員を対象に行なった。

**十分な配慮が在るのでは**

**問** 幼保統合案の保育時間、原則として午後2時までと、午後5時までの2段階設定を行なうが、幼児の負担が心配される。

**答** 十分検討していききたい。

**問** 保育所は、小・中学校と違い、はつきりとした適正規模・適正配置の指針はない。就学前の幼児は小学校との連携が必須だが、低年齢幼児は無理に小学校に近い保育所に行くのではなく、地域で保育をするような柔軟な考えは出来ないのか。

**答** 小規模保育所では、保育士の負担が大きく、臨時保育士の確保もままならない状況である。

**問** 保育所整備の22年度予算の執行状況は。

**答** 昭和北・南保育所は、候補地を調査中。用地費・設計等の委託費は、23年度へ繰越をする。

綾上地区の統合保育所は、住民・保護者説明会で意見があった進入路関係もあり、用地費は減額

し、新しい候補地を含めて調査を行なう。

**保育士の待遇は**

**問** 公立と私立の保育士等の給与格差は。

**答** 公立の保育士の給与格差は、市町間ではあまりない。今後、常勤の臨時保育士は月額制を導入したい。

**今後のスケジュールは**

**問** 綾上地区の保育所統合は、例えば山田と羽床

上の2カ所にし、次の段階で1カ所にする案も検討しては。

**答** 1つの案だが、将来を見越し、調査・検討を進めたい。

昭和地区の用地取得は、小学校近くで交渉を行なう。また、基本計画等の委託業務と敷地造成工事も予定。

綾上中学校は、23年度で校舎棟、管理棟等を、24年度に技術棟、体育館を整備する。綾南中学校は、24年度から26年度の間に施工計画を定める。

**要望** 中学校施設は、耐震性の確保を図るため、速やかに事業推進を行なうとともに、29年度を目途とする中学校統合に際して、現在の町PTA連絡協議会役員、保護者に加えて、小学校低学年児童とその保護者も当事者となることから、その意見・要望も踏まえて対応を図ってほしい。



綾南中学校



# いっぱん質問

福家 利智子 議員

**Q** 農業の活性化策は  
**A** 担い手の経営の安定と発展に努める



遊休地利用のそば栽培

**問** 町でも例外ではなく、高齢化、後継者不足、耕作放棄地が同様に進んでいる。これらの状況を踏まえつつ、自立、持続可能な農業の振興策について、圃場整備による優良農地の確保、担い手への農地の利用集積、集落営農の推進、農業振興公社の遊休地解消、農業経営全般に亘る支援をどう図るのか。

協、県、農業関係団体等と十分に連携し、担い手のニーズに即した総合的な支援を行ない、担い手の経営の安定と発展に努める。

**Q** 住宅用火災警報器の普及は  
**A** 一層の推進活動を実施

**問** 既存住宅への火災警報器の設置の義務化をすすめ、今年の6月までにすべての住宅に設置する

ことを定めている。

5月末までで、火災警報器購入補助金申請手続きが終了となるが、町として今後どのような対策を考えているのか。

**町長** 設置は、努力義務であり、罰則その他の法的制裁を受けないが、設置向上に向け一層推進する。

補助金交付要綱についても、普及率を勘案し、継続も含め検討する。

安藤 利光 議員

**Q** 国保税引き上げに  
転嫁させる通達は撤回を  
**A** 引き続き、国に要望していく

**問** 国保税は、所得30万円計からの繰り入れをやめたの4人家族（40歳の両親と子供2人の世帯）で約35万円。所得の1割を超す高い国保税になっている。

町は財政が苦しい中、公費を繰り入れて値上げを抑える努力をしている。しかし、政府は一般会

**町長** 医療費の増加により、税率改正を今回要望している。

国、県の負担割合を引

き上げるとは、保険税の抑制にもつながる。引き続き要望していく。

**Q** 火葬用のマイクロバス  
火葬場の使用料の  
**A** 軽減も含め検討

**問** 葬儀用のマイクロバスは、24年度以降も存続して欲しい。町は、24年3月で職員が退職するのを機会に、廃止したいとしている。

しかし、自宅で行なう町民にとっては、貴重な交通手段になっている。町民が低価格で葬儀を行なえるよう行政の役割を發揮しては。

**町長** 22年4月から23年2月までの町内の葬儀280件のうち、自宅葬は81件と減少している。更に、県農協が綾川斎苑近くに斎場を建設中。

町はその事情から、廃止を予定しているが、火葬場使用料の軽減も含めて検討している。



安心して医療が受けられるように



**Q** 国民健康保険証のカード化は  
**A** 電算システム更新時に対応

**問** 国民健康保険利用者は、未だに元来の大きいサイズの紙製保険証である。

綾川町の国民健康保険加入者は、6095人で24%、世帯数3451世帯で37%を占めているが、1世帯に1枚しか発行されていない。

問題点として、家族が旅行する際は、コピーして持参。旅先で病気になるれば病院から10割の負担を請求され、通院時には月が変われば必ず病院で保険証の確認が必要となる。

家族全員がカード式保険証を持つていけば、万一急病になったとしても困らない。財布の中にも納まり、とても便利だ。町民の利便性向上のため、国民健康保険証の個人カード化の実現を。



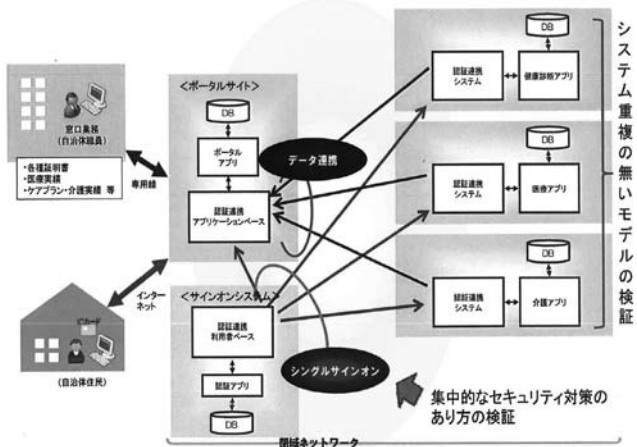
町の保険証

**町長** 平成13年の国民健康保険法施行規則の改正により、被保険者証の個人カード化を実施することとされている。香川県内においても、平成20年4月に創設された後期高齢者医療の被保険者証や、協会けんぽの被保険者証

など個々の保険者において、カード化が進められている。県内市町国保も、カード化が進められ、約半数の市町が実施することとなっている。国保加入者からのカード化の問い合わせ等もあり、本町においてもカード化は差し迫った課題である。電算システムの更新の検討がなされており、これにあわせてカード化も進めていく。

村瀬 秀則 議員

**Q** 次世代通信システムについて  
**A** 導入効果や課題について 研究する



次世代通信システム

**問** これからは全国の市町村等が高速通信網利用をもって共通クラウド型ウェブアプリケーション構築・運用を目指し進めていくことが、とりわけ重大な施策と思われる。合わせて防災行政無線についても、今後の老朽化を見据え、新たな方式のシステム構築が必要と思われるが。

**町長** 自治体クラウドの実現に向け、香川県が中心となり、昨年10月より

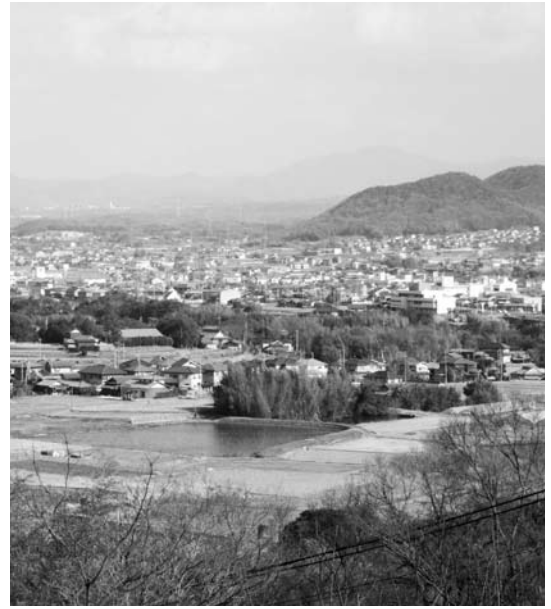
**町長** 庁舎内電算システムの更新を計画しており、町全体での収納率向上のため、収納諸式を今後どうしていくか、住民への利便性・費用面も考えながら、収納率向上のため、更に検討する。

**Q** 電子マネー利用による利便性向上について  
**A** 収納率向上のため、検討する

「電子自治体システム最適化研究会」を発足し、現在、各市町の各種システムにおける費用面の調査を行っている状況である。今後は、現在の防災行政無線の更新時期等も考慮しながら、新たなシステムの導入効果や課題について研究していきたい。

Q 民間住宅耐震診断・工事の補助は

A 23年4月から実施



耐震強度は大丈夫？

**問** 政府の地震予測によると、今後30年以内に東南海地震の発生が予測される確立は、60〜70%である。震度6以上の大地震が発生すると、阪神・淡路大震災のように建物の崩壊による被害は想像を絶するものがある。

昭和56年以前に建築した建物は、耐震基準が低かったために強度不足であり、民間住宅の「耐震診断また耐震工事の支援」をすることを表明しているが、いつからどのような形で実施するのか。

町長 民間住宅耐震支援事業は、平成23年4月から、地震に対する住宅の耐震性の向上を図り、住民の安全を確保するため、民間住宅の耐震診断・改修工事を支援する補助金制度であり、事業実施期間は、平成23年4月から、27年度までの5カ年間で予定している。

補助の対象は、昭和56年5月31日以前に着工した併用住宅を含む、一戸建て又は長屋建てを対象とする。耐震診断技術者により耐震診断を行ない、住宅の地震に対する安全性の評価に基づき、耐震改修工事を実施する。「耐震診断補助金」の、限度額は6万円である。「耐震改修工事」は、県内に営業所を設けている事業者が施工する補強又は改修工事で、限度額は、60万円である。

補助制度の普及を図り、安全・安心なまちづくり実現のため、町民がこの制度を利用して、住宅の耐震化に取り組んでいた

Q 外国人検診の受け入れ

A 役割分担し、広域的に相談、研究する

**問** 高松―上海間のチャーター便が就航する予定となっている。綾川町では対応策はあるのか。

岡山、徳島では検診等の医療と、観光をセットにしている。町内には多数の病院があるが、受け入れの連携はとれないか。

の皆さまにも意義がある。今後増加するであろう外国人観光客に対する施策として質問する。

町長 国は、「医療観光」といわれる新産業として、外国人観光客の受け入れ増を図ろうとしている。近県においても質問の通りである。

町内には、ペット（PET）検診装置を導入し、充実した検診部門を誇る総合病院がある。また、陶病院においても、昨年5月にMRI検査装置が稼働している。3月からは「簡易脳ドック」を始めている。

今後、地域振興の新たな可能性を有する外国人検診者の受け入れについて、各病院で役割分担し、医療圏単位で検討する。

広域的な連携が図られるよう、調整役となる香川県に働きかける。また郡医師会とも相談し、各病院の設備を活用できる方策を研究する。



海外チャーター便就航予定の高松空港

**Q** 生涯学習センターの機能は  
**A** 住民の生涯学習活動の拠点となる

**問** 24年4月をオープン目標に工事が進められている、生涯学習センター内へ、十一面観音立像を移設展示、併せて図書館、郷土出身の芸術家や文化人等々の作品展示をする

計画があるが、梅の里綾川町を大々的に取り上げ、郷土の歴史、芸術、文化等を冊子にし、環境のよい町、住みよい町を町内外にPRしてはどうか。



建設中の生涯学習センター(仮称)

拠点となる

**教育長** 現在、工事を進めているが、図書館と資料館の機能を併せ持ち、住民の生涯学習活動の拠点となるものである。

公立図書館は、地域の文化や生活を活性化させる上で大きな役割を果たすものと考えており、さらに国指定の重要文化財である木造十一面観音立像など貴重な郷土の文化財を移設展示するとともに、郷土出身の芸術家や文化人の作品、また、綾川町の歴史などと身近に接することのできる環境を整備する。

「冊子」については生涯学習センターのパンフレット、利用案内等の作成は、23年度の当初予算に計上している。

町内外にPRする冊子は、町長部局とも協議の上、ホームページの有効活用も含めて検討する。

河野 雅廣 議員

**Q** 琴電の新駅設置提案を受けての都市計画は

**A** 町の起爆剤として、一体的に推進したい

市計画を第2次5カ年計画策定もあるが、どのよう計画、反映していく考えは。

**町長** 大規模商業施設の立地による沿線需要の变化、市街地の形成等に依りていくうえで、新駅設置を、町の活性化の起爆剤として、活力あるまちづくりを一体的に推進したい。

今後、土地利用の面から、将来の都市計画を見据えた「農業振興地域整備計画」等の検討を行なう。また、道路、水道、下水道等の社会資本整備についても、琴電・県等の関係機関と連携のうえ協議を進めたい。

議会とも協議しながら、23年度に策定する「第2次5カ年計画」に反映できるように検討していく。

**問** 地域公共交通の利便性向上と、結節性強化に向けた地域公共交通総合連携計画が琴電活性化協議会で示され、新駅を設置することや、バスと電車の乗り継ぎ改善で、利用者増を図ること。

計画案によると、大型商業施設が集中する陶滝宮間に新駅を設けて利用拡大させたいとのこと。

素案ではあるが、計画を受け、庁舎周辺整備、都



イオン付近の都市計画は

Q 「子ども園」構想は

A 「生きる力」の

基礎をつくる教育を

得た体験や充実感をもとに「生きる力」の基礎が作られる保育や教育が望ましい。

Q 新学校学習指導要領

実施は

A 加配教員や教材教具の整備をする

問 本町では、児童の数が減って学級編成が危ぶまれている。  
現状下での制度導入は必要か。  
地域住民に与える影響について調査し、説明はされたか。

町独自の指針は策定されているか。  
教育長 町独自の一貫性のある幼・保教育の理念のもと、発達段階に応じ、一定規模の人数の中で生活や遊びを通じて周囲の環境とかかわり、そこで



粉所幼稚園

問 新学校学習指導要領実施について、町独自の創意工夫は盛り込まれているか。

①現場とのギャップはないか。

②教育不足、施設面で問題はないか。

③英語教育についての対応は万全か。

④幼保小中の一貫性教育は実施するのか。

教育長 一貫した運営と実態に応じて加配教員や生活支援員を配置し、特に小学校英語教育は担任と外部非常勤講師、町単独の外国語指導助手も継続配置する。また、教材教具等の整備、耐震補強・大規模改修、改築及び空調も実施する計画である。

議員 石井 和義

Q 綾上診療所医師体制の

確立を

A 常勤医師の派遣を要望する

問 綾上診療所は開所以来、健全経営を維持している。また小規模ながら地域医療や病氣予防の取り組みなど、全国放送で取り上げられるほどの成果を上げている。

開所当初から県に医師派遣を要請し、常勤医師



綾上診療所

2名体制を保ってきたが、現在、常勤医師1名を欠いている。

全国的な医師の不足も

伝えられるが、診療体制の確立・医師確保について町長の見解を尋ねる。

町長 22年度から常勤医師1名派遣が困難になり、

へき地医療支援機構から週2日、陶病院から週2日の派遣を受け、3診療所の医療体制を維持している。23年度も同様な診療日数を確保したい。

同診療所への住民ニーズの高さからも複数医師の確保は重要と考え、今後とも常勤医師派遣の要望に努めるとともに、陶病院とも連携し医師確保に努めたい。

Q 農業試験場の雇用は

A 県へ働きかける

問 新農業試験場は、今秋の開場予定だが、県の雇用計画は決定したか。

また、農業試験場設置計画時、開場後の雇用について用地協力者等との協議を約束していたが、地元と県との協議は既にされたのか。その後の経緯・進展について尋ねる。

町長 仏生山本場、三木試験場等に勤務する嘱託員や技能業務臨時職員の募集は、県のホームページに登載し、ハローワークによる公募が毎年行なわれている。

県は、本町に開場する新農業試験場では農繁期の雇用を検討中とのこと

で、正式な雇用計画が策定されれば公表するよう申し入れている。

町として、地元で雇用が生まれるよう県に働きかけるとともに、県からの情報があれば地元で周知する。

ほかにもこんな  
質問がありました。

介護保険から

除外しないように

**問** 国は、24年度の介護保険制度改正で、要支援の人に対する「生活援助制度」を保険から除外し、ボランティアによる配食や見守りに置きかえようとしているが。

**町長** 介護サービスの質の低下により、使えなくなるという問題があり、町は、国にそのような「総合サービス」を導入しないように要望した。

待機者は

**問** 特別養護老人ホームの待機者は、平成21年度で2万人と4倍にもなっているが、町の状況は。

また、小規模多機能型施設はどのように進めるのか。

**町長** 待機者は21年度末で160名。小規模多機能型の管理は、町社会福祉協議会を指定管理者として、デイサービス15名、ショートステイ5名、登



今年も笑顔で(楽々苑)

録定員25名で居宅介護を必要とする人を支援する施設である。

運営の収支は、5年目から赤字に転じる方向である。今後相談していく。

**羽床校区の活性化対策は**  
**問** それぞれの地域の特徴を生かした活性化案があれば。

**教育長** 都市計画や農業振興地域の見直し、住宅の開発や道路整備など町を挙げて取り組んでいく必要がある。

幼保一体化の方針は

**問** 国は「こども園」に統合することを検討してき

たが、幼稚園側が反発したことからトーンダウンし、「こども園」に一本化するとは断念し、「こども園」と、一部の幼稚園、2歳児までは保育所を残すことにした。町が進めようとしている幼保一体化の方針は、少し無理なところがあるのでは。

**町長** 国は、子育て支援の基本方針を策定し、「こども園」に移行を進める。そして制度改正後、必要な「こども園」「幼稚園」「保育所」を計画的に整備する。町においては、今までの実績を踏まえて、保育や教育の一体的運営が図られるように取り組む。

所得向上と

産業の創出

**問** 生活向上に向け、本町におい

て、独自の新たな産業創出の考えがあるのか。農業分野では、TPP参加、国産原材料サプライチェーン構築事業、青果物流通システム構築事業など、本年度も継続、新規事業として取り組んでいるが、厳しさのある農業施策は特に重点的に取り組むべきと思われるが。

綾川ダム群連携事業(長柄ダム再開発)は

**問** 県主導で事業を立ち上げ、流域自治体も連携し、推進協議会を立ち上げ国が採択して、早15年ほどが経過する。水不足の解消、氾濫等の無い安定した川の流れをもたらす同事業は、綾川沿いで生活を営む住民にとって悲願の事業である。県の

計画変更等、その後の経緯・進展は。

**町長** 綾川沿線の治水・利水対策として重要な事業だが、県は、まだ本体工事に着手していない綾川ダム群連携の計画を再度検証することとした。

検討委員会を十分重ね23年度中に、対応の原案を策定し、国土交通省に報告する。

治水、利水ともに必要であるため、事業実施が可能になるよう関係団体と連携し、努力していく。

議会日誌

1月	9日	町消防団出初式
	18日	生涯学習センター建設工事安全祈願祭
	21日	総務委員協議会
	28日	建設経済委員協議会(現地調査)
2月	2日	議会運営委員会
	”	学校等再編整備調査特別委員会
	4日	厚生委員協議会(現地調査)
	16日	香川県町村議会議長会総会(定例会)
	25日	後期高齢者医療広域連合議会定例会
3月	2日	議会運営委員会 本会議 全員協議会
	7日	本会議 議会広報委員会
	8日	総務常任委員会
	10日	厚生常任委員会
	14日	建設経済常任委員会
	15日	学校等再編整備調査特別委員会
	16日	議会運営委員会 全員協議会 本会議
	24日	議会広報委員会
	29日	議会広報委員会
4月	5日	議会広報委員会



長柄ダム



3月定例会の傍聴風景(3月7日)

そのスタンスは、住民の安全や高齢化社会への取り組みの充実要請でした。また、助成制度の景気対策、そして光ケーブルを活用した情報化社会への中期的な考え方などの解明だったと感じました。これに対し、町当局の①議会等の意見を聞きつつ連携する。②町の発展展望と財政を見つづ施策を進めていく。などの考え方を聞くことがで

きました。欲を言えば、あとひと踏ん張りの白熱した議論があっても良いと思いましたが。 学校等再編整備の地域住民説明会を機に、議会を傍聴するようになりました。それまでは議会傍聴について、関心はありませんでした。今回で3度目の議会傍聴となります。議員の方々の一般質問も、私達の生活に直接結びつくものから、綾川町の将来を見据えたもので、幅広く質問がされていました。綾川町の人口も、減少の方向にあるとのことですが、私達町民も何が出来るか創意工夫をし、活力ある住みよい町にしたいものです。



菅原地区 谷本 正廣



約1年ぶりに定例議会を傍聴しました。今回は10名の議員から質問通告が出ており、久しぶりに多くの議員が、町当局の考え方を質しました。

羽床地区 中川 昭二



学校等再編整備の地域住民説明会を機に、議会を傍聴するようになりました。それまでは議会傍聴について、関心はありませんでした。今回で3度目の議会傍聴となります。



### 東日本大震災義援金を受付しています。

#### 義援金受付窓口

- 役場
- 綾上支所
- 各公民館
- 陶病院
- 綾上診療所
- えがお
- いきいきセンター
- 老健あやがわ



町より100万円と、町民から寄せられた義援金として、第1回目200万円。また、町民より水、紙オムツなどの義援物資をダンボール箱120個、被災地に送りました。

## 編集後記

平成23年度の予算を審議中に、東日本大震災が発生しました。町民の皆様と同様に我々議員一同も被災された多くの犠牲者のご冥福をお祈りすると共に、一刻も早い復興を望んでやみません。

綾川町も厳しい財政事情の中、次期5ヵ年計画を策定し、将来への町づくりに推進してまいります。議員一同これからも厳しい目で行政を見守ってまいります。

本年度も町民皆様の相変わらぬご指導、よろしくお願い致します。

### 議会広報編集委員会

- |      |       |
|------|-------|
| 委員長  | 安藤 利光 |
| 副委員長 | 福家利智子 |
| 委員   | 川崎 泰史 |
| 委員   | 福家 功  |
| 委員   | 横井 薫  |
| 委員   | 鈴木 義明 |